

中国共産党による法輪功への迫害 欧州議会が即時停止求める

フランスのストラスブールにある欧州議会本部で1月18日、2024/2504 (RSP) 決議が賛成多数で可決された。様々な政党や加盟国の議員が発起したもので、決議文では中国共産党（以下、中共）が法輪功への迫害を続けていることを非難し、迫害の即時停止、法輪功学習者（以下、学習者）の丁元徳さんを無条件に釈放するよう求めている。丁元徳さんは中国当局に連行され、2023年12月に懲役3年の刑を言い渡されていた。決議内容は、EU機関や加盟国の政府および議会、中国政府に送付される。

同決議は、欧州連合とその加盟国に対し、中共による臓器移植濫用と国家公認で学習者から生体臓器を取奪している行為を非難するため、直ちに行動を起こすよう求めている。また「丁元徳さんを始め、連行された学習者全員の即時の無条件釈放」、並びに「法輪功迫害に加担したすべての加害者と団体に対する制



■2024年1月18日、法輪功迫害を譴責する決議、2024/2504 (RSP) に賛同する欧州議員 (写真提供：欧州連合)

裁」を要求している。

採決の前日、欧州議会の議事堂で決議案に関するディベートが行われた。そこでは、中共が学習者を中傷し、極端な手段で拷問している事実を多くの議員が非難した。そして、これらの人権侵害の加害者に実質的な制裁を加えるよう求めた。

ドイツの欧州議員
「法輪功は誰にも危害を加えない」

ドイツキリスト教民主同盟のミヒャエル・ガーラー欧州議会議員は、スピーチで法輪功について言及し、次のように語った。「法輪功は誰にも危害を加えない修煉法であり、国家にとって危険なものではありません。しかし1999年以来、中共は法輪功を自分たちのイデオロギーに対する脅威とみなしてきました。私たちが注目しているのは、昨年連行され、12月に3年の禁固刑を言い渡された丁元徳さ



■ドイツのミヒャエル・ガーラー欧州議員 (左) と丁樂斌 (ディン・ラビン) 氏 (右)

んです。学習者は無条件で釈放され、信念や自己の文化の継承を許されるべきです。(この自由は) 中国憲法にも謳われています」

父の救出を求める

中国の山東省日照市当局は2023年5月12日、丁元徳さんとその妻・馬瑞梅さんを含む学習者約70人を逮捕状なしで拘束した。

息子の丁樂斌 (ディン・ラビン) さんは学習者で、ドイツに在住している。母

親は連行されて10日ほどで釈放されたが、父親はまだ拘束されている。彼は父親を救出するため国際社会に助けを求めている。

11月に五蓮県人民法院で父親の審問が行われたが、その後、この件に関して当局から家族への連絡は一切なかった。

そして1カ月後の12月20日、家族は父親が懲役3年、罰金1万5000円を言い渡されたと知った。

広島「ぺあせろべ」で5セットの功法を紹介



■ステージで法輪功の5セットの功法を披露

「国際交流フェスティバル 2024新春ぺあせろべ」が1月14日、広島市中区のゲートパークプラザ (旧市民球場跡地) で開催された。

「ぺあせろべ」は中共ウイルス (武漢肺炎) の流行で中断していたが今年から再開

し、初めて原爆の跡地近くにできたばかりの広島ゲートパークで開催することとなった。

この日は、肌寒く感じることもなかった。澄んだ空に日差しが降り注ぎ、穏やかな雰囲気

に訪れた。今年はインド人やモンゴル人、その他の民族を含む24グループが参加し、様々な国籍の人々が異なる民族の歴史と文化を学び、相互理解を促進した。

参加グループの一つとして、法輪功学習者 (以下、学

習者) はステージのパフォーマンスに参加すると共に、ブースを設けて中国における法輪功迫害の事実や、法輪功について紹介した。

法輪功への迫害を理解した人々

学習者は、ステージで法輪功の五式の功法を実演し、腰太鼓を披露した。法輪功の功法は穏やかで平和的で、観客の中には学習者の動きを真似する人もいた。

法輪功のブースには、法輪功を紹介する各種の資料、手作りの小さな蓮の花、学習者が用意した伝統的な美食などが用意された。多くの家族連れが訪れ、ある女性は、子供の名

前が「蓮」なので、特に蓮の花が好きだと学習者に語った。この女性はまた、「昨年母親と一緒に大阪で神韻公演を鑑賞したことがあり、とても美しかったので一生忘れられません」と語った。

ブースを訪れたドイツから来たマリーさん (女性) は、学習者から法輪功を紹介され、資料と小さな蓮の花を手にして満足した様子で帰った。

イベント実行委員会副委員長の河野房子氏もブースを訪れ、記念撮影をした。広島

世界中で7万人以上がオンラインレッスンに参加



オンラインで気功体験

世界で1億人が愛好する気功の、無料オンラインレッスンです。まったく初めての方、初心者の方も参加できます。自宅や好きな場所まで、お気軽に体験してみませんか？

法輪功の創始者・李洪志先生の新刊
『なぜ人類はいるのか』・『なぜ衆生を救い済度するのか』

法輪功を体験してみませんか？

Learnfalungong.jpのスクリーンショット

法輪功をオンラインで学習する人が増えている。現在では156の国と地域から7万人以上がオンラインレッスンに参加している。

カナダの法輪功学習者でボランティア・コーディネーターの雷世中博士によると、昨年10月までで5大陸の7万人以上の人々がオンラインで法輪功を学んでいるという。

28言語クラスに拡大

雷博士によると、2020年10月以降、オンラインレッスンの需要が供給を上回り、北米、南米、アジア、ヨーロッパ、オーストラリア、中東の28言語に拡大しているとい

う。すでに201の国と地域から19万5000人が登録したが、そのうち156の国と地域から7万人以上が実際にオンラインレッスンに参加した。

強いエネルギーを感じた

参加者のカルメン・ディアスさんは、「このクラスは、私の期待をはるかに超えていました。すぐ体中にエネルギーが流れるのを感じ、リラックスしながらも活力が湧いてきて、とてもユニークでパワフルな感覚を覚えました。体の痛みも消えていきました。この功法を教えてくださいと本当にありがとうございます」と感謝した。

他の人にも勧めたい

ワシントンさん（女性）は「このクラスの内容は全て有益で、よく取り組まれていて、各段階が丁寧に準備されています。本当に楽しかったです。男女両方の参加者に対する功法の動きの実演は、とてもよくできていました。他の人にも勧めたいと思います。世界は常に法輪功を必要としています」とコメントした。

9日間セミナー

雷博士によると、北米の英語によるオンラインクラスでは、週4回の授業に加え、毎月「9日間セミナー」という法輪功の授業があり、李洪志先生の広州でのセミナーのビデオを上映している。毎回200人ほどが登録し、20~30人ほどが9日間のビデオを熱心に視聴している。

多くの人にも恩恵を受けてほしい

2020年11月のある日、カナダのカルガリー大学に通うカロリーナ・アベンダーノさんは、喫茶店の地域情報ボードに貼られたチラシを見て「オンラインで功法を学ぶコー

ス」に惹かれた。

彼女はレッスンに申し込むと決め、功法を学び始めた。そしてわずか3日後に1年以上きていなかった生理が奇跡的に戻ってきたことに驚いた。

その後、アベンダーノさんは9日間セミナーを観た。そして、毎週末カルガリーのダウンタウンで行われる煉功に参加するようになった。

以前のアベンダーノさんは、物質的な利益をより重視し、常に仕事の効率を重視していた。しかし法輪功の学習を始めた彼女は、すっかり変わった。キャリアや仕事に執着しなくなった。「内なる平和を求めるようになりました。しばらくな

かったことです」。

少し前のインタビューで彼女は、自分が法輪功のおかげで心身とも恩恵を受けたので、より多くの人に同じように恩恵を受けてほしいと語った。「私たちのいる時代は狂っています。戦争が勃発し、世界中で経済的にも社会的にも困難な時代が続いています。人々は、より高いレベルで自分たちを助けてくれるものを探しています。だからこそ、人々はますます内なる平和に目を向けるようになったのです」

「人々は健康を増進し、人生に意味を見出したいと思っています。法輪功は、まさにそれを人々に提供していると思います」



■オンラインで功法を教えるボランティアスタッフ

インド 国際ブックフェアで著名人が法輪功を支持

インドの法輪功学習者（以下、学習者）は2023年12月1日から10日まで、ケララ州で開催された第26回コーチ国際ブックフェアに参加した。コーチのブックフェアはケララ州最大の著名な文学イベントであり、様々な年齢や背景の読者と、インド内外の作家や出版社、書店を結びつけている。

法輪功の書籍（マラーヤラム語版）を販売

今回のブックフェアは大規模で、来場者は約10万人。学習者の

参加は今回が2回目で、法輪功と関連主要書籍を紹介した。特に展示販売されたのは、現地語のマラーヤラム語に翻訳された書籍『轉法輪』と『法輪功』で、一般向けに販売されたのは今回が初めて。多くの来場者は法輪功に興味を持ち、マラーヤラム語の同書籍を購入した。中には、オンラインの煉功教室に申し込んで法輪功を学びたいとする来場者もいた。

多くの人に法輪功への迫害を知ってほしい

P・J・サニー氏は、ケララ州スリ・サンカラチャリヤにあるサンスクリット大学の哲学助教授で、様々な専門誌・雑誌に多数の記事を寄稿し、ワークショップを開いており、現在はインド社会科学委員会でプロジェクト研究に従事している。

同氏は以前から法輪功について聞いていたが、今回はもっと知りたいと思った。学習者は、同氏に中国共産党（以下、中共）による法輪功迫害の実態を伝えた。

同氏は中国の学習者の境遇に同情し、「私はいつも学びたい人間で、共産主義が私たちの世界にもたらす問題について考えています」とコメント。そして『共産党についての九つの論評』と『悪魔が世界を統治している』の2冊の本に

注目し、もっと多くの人が中共による法輪功への迫害を知ることを望んだ。学習者は同氏に『共産党についての九つの論評』を贈り、同氏は「皆さんの努力が実を結ぶことを願っています」と述べた。

著名人が法輪功を支持

今回のブックフェアとは別に、第7回コーチ文学祭も12月6日から10日まで同会場で開催された。各分野の思想家が現代の問題について議論し、多くの芸術家や歴史家、科学者、政治家、詩人、ジャーナリストなどが会場を訪れた。

スリギス・パニカ氏は、ケララ州出身の政治アナリストで、テレビニュースの評論家、研究者、作家、社会評論家でもある。同州の主要メディアのコメンテーターを長年務めてきた。同氏はすでに『悪魔が世界を統治している』を所持しており、さらに詳しい情報を得るため、この本についてもっと理解を深めたいと述べた。

同州エルストラム地区から訪れた2人の政治家K.V. トーマス氏とC.G.ラジャゴパール氏は法輪功のブースを見学し、法輪功への支持を表明した。

同州エルストラム地区から訪れた2人の政治家K.V. トーマス氏とC.G.ラジャゴパール氏は法輪功のブースを見学し、法輪功への支持を表明した。

メディアも取材

学習者は12月9日に会場中央の舞台上で5通りの功法を披露した。多くの来場者が功法をとても素晴らしいと称賛した。法輪功のオンライン教室に参加したことのある来場者の中には功法を学ぶ人もいた。

コーチ放送局はイベント期間中に学習者を取材し、法輪功について報道した。



■法輪功について取材するコーチ放送局

ひどい花粉症が治った奇跡

薬も注射もなしで1冊の本を読むだけで、ひどい花粉症に別れを告げることができるでしょうか。答えは「できる」です。

花粉症の苦しみ

私は1998年に日本へ留学に来ました。2002年2月初め、全身がだるく、歯茎が痛くなり、目が乾いて、片目から時々涙がでました。2003年2月初旬の週末に、突然人生で経験したことのない激しい頭痛に襲われました。噴射状の

嘔吐もありました。丸二日間、私は食事も水も採ることができず、ベッドに入って寝ることで頭痛から逃れようとしてしました。3日目、頭痛が少し和らいできたので、近所の病院に行きました。医師から頭痛薬の処方箋をもらい薬を飲み、症状を抑えました。

マスクをつけて対処

家に帰って、パソコンで「頭痛」のキーワードで検索してみると、花粉症で頭痛を起こす可能性があるを見つけ

ました。その時は2月初めでしたが、花粉対策マスクを買って、その日から毎日外出時はマスクをしていました。思った通り、その日から頭痛が起きませんでした。4月に入ると、恐る恐るマスクを2日間外してみたら大丈夫だったので、花粉の季節がやっと過ぎたと分かりました。

2004年、2月に入るとすぐマスクを買って毎日つけていました。しっかりマスクをつけていれば、夜まで何もない

のですが、マスクをまともにつけていないと午後からだんだん頭が痛くなり、夜になると吐いてしまうこともありました。2003年と2004年の激しい頭痛と吐き気は、花粉症が原因だと証明されました。

2005年に入って、私は生活、仕事、恋愛で難関にぶつかり、毎日憂鬱で落ち込んでいました。その時、『轉法輪』という本を思い出して、その本読んで、憂鬱な心境を抜け出す力を本からもらいたいと思いました。

『轉法輪』との出会い

の体を浄化して下さったのではないかと思います。

こうして2005年の春から、私はマスクをつけずに過ごしてきました。久しぶりに春の清い空気を吸って、あの怖くて嫌な花粉症と別れを告げました。私は煉功の動作さえ覚えていない時に、『轉法輪』を一回読んだだけで、花粉症が根治したのです。

結び

私がいる日本では花粉症を患う人が多く、自身の体験を

家に滞在した数日間、母は毎日元気いっぱい、足取りも軽くて速く、その元気さは、もの心がついてから見たこともないほどでした。母は法輪功の『轉法輪』を渡してくれました。私が小さい頃、ちょうど中国では気功ブームが起き、気功にまつわる不思議な現象を自分の目で見たこともあったので、好奇心で『轉法輪』を1日半かけて一気に読み終わりました。そして、日本に来る時に『轉法輪』を持ってきました。

『轉法輪』を読み返すと花粉症が治った

2005年の1月末、窮地から抜け出すため『轉法輪』を開きました。読んで、気持ちがずいぶん明るくなりました。

ふと気づいたのですが、あれ、もう2月に入っているのでは？ 例年では、とっくにマスクをしていたはずなのに、どうして今まで頭痛が起きていないのか？

『轉法輪』にある言葉を思い出しました。「皆さんもお

聞きになったことがあるだろうと思いますが、佛教には、『佛性がひとたび現われると、十方世界を震わす』という言葉があります。覚者がそのような人を見ればひとしく救いの手を差し伸べ、無条件に助けてあげようとしています」

『轉法輪』を読んだ時、ただ中に述べられた道理に感服して、病気を治そうなどとは思っていませんでした。これはつまり佛性が現れたということでしょうか、李洪志先生は既に面倒を見て下さり、私



■陳さんご本人

日本の人々に読んでもらえれば、花粉症で苦しんでいる人たちにとって、花粉症を治す方法が一つ増えることになるのではないかと書いてみました。

韓国GM社部長の人生の転機

「一人の人間の、二つの人生を見ました」と会社の同僚が話すのは、グローバル自動車メーカーである韓国ゼネラルモーターズ（韓国GM）社の韓交鎮さんのことです。

父親の子言

『周易』を研究していた韓交鎮さんの父親は彼に「お前が40歳になったら、運命が変わる。そして、私はその年の9月にこの世を去る……」と告げたそうです。その後、彼の父親は本当に9月に亡くなり、彼も父親の言葉通り、40歳を境に人生に大きな変化を迎えました。



■徹底した几帳面さで知られる静かで優しい上司の韓さん

彼はこう振り返りました。「2002年、当時勤めていた会社が金融危機で突然倒産しました。本当に苦しかったのです。そしてある日、私は北漢山で偶然にも穏やかに煉功している人たちを見かけました。彼らが法輪功を煉功していると知り、さっそくインターネットで検索してみると、学習者が1億人もいると分かりました。これほど多くの人が習っていることに驚きつつ、これほど多くの学習者が弾圧されていることも不思議に思いました。直感的に、1億人も学習しているのならば、この功法にはきっと何か超常的な原理が存在しているに違いないと思いました」

煉功で体が軽くなる

韓さんは、こう振り返ります。「初めて法輪功の動作を習った日、私の掌の中央部にヒリヒリと刺されたような痛みを感じ、全身が熱くなりました。激しい運動をしたわ

けでもないのに全身に汗をかき始め、煉功後は体が軽くなりました」

韓さんを驚かせることは、その後も続きました。「その直後、感謝の気持ちを表そうと、功法を教えてくれた学習者にプレゼントを渡そうとしたところ、断られました。彼は私に『法輪功の学習者が功法を教える時、いかなる代価も報酬も受け取りません。今後、あなたもそうしてください』と言いました」

有名なアル中が断酒

法輪功の学習を始めてまもなく、不思議なことが起こりました。「『轉法輪』を読んで、もうお酒を飲むべきではないと思いつつ、禁酒にはあまり努力しませんでした。でも不思議なことに、だんだんお酒を飲みたくなくなってきました」

「お酒だけでなく、たばこも止めました。以前は何度も禁煙を試みましたが失敗しました。法輪功を学習してお酒

をやめたように、タバコも自然に簡単にやめました」

厳しかった部長が温和に

職場での韓さんは几帳面な部長で、チームメンバーにあまりに厳しすぎるため、「毒蛇」というあだ名まで付けられていました。しかし法輪功を学ぶと、がらりと変わって優しくなりました。「相手を責めたり追及したりしなければ、コミュニケーションの窓が自然に開くことを、（法輪功の）学習を通して気づかされました」

韓さんのチームメンバーに対する態度も変わりました。韓さんは、メンバーのために献身的に働き、面子が傷ついても我慢し、穏やかな職場の雰囲気を持続するよう努めました。

「人は不幸、苦痛、経済的困難に遭遇することがあります。しかし、それを偶然として捉えず、自分が返済すべき（借りの）部分だと見なします。そう考えれば、穏やかな心を保つことができます。そして（法輪功の）学習は、私

の意志力も強くしてくれました」

危機に陥った家庭が落ち着きを取り戻す

韓さんの妻も娘も、彼の変化を実感しました。当時、危機に陥っていた家庭も落ち着きを取り戻しました。

「以前は妻と喧嘩すると、数日間も口をきかず、しゃべりだすと口論になっていましたが、今ではもう喧嘩しなくなりました。妻が怒っても、妻の言うことをよく聞いてあげると、彼女もすぐに落ち着き、怒らなくなります。娘も友達に『父が変わった』と言っているようです」

皿洗いや家の片付け、洗濯、休日の掃除はみな、韓さんの仕事です。どんなに疲れていても、家族のことを思うと袖をまくり上げて家事を始めるのです。家事をするようになった韓さんは、妻の苦勞を理解するようになりました。「今までは妻に大変な思いをさせてしまいました。これからは、少しずつ償っていきたいです」

法輪功を学ぶには

法輪功（ファールンゴン）は法輪大法（ファールンダーファ）とも呼ばれます。1992年に李洪志氏により伝え出された、心身を鍛える気功修煉です。法輪功の修煉は、「真・善・忍」を理念とし、日々の生活の中で自らを高め、家庭や社会の安定と、人々の健康増進、道徳水準の向上にも、計り知れない効果をもたらします。

一、修煉とは

法輪功は、心性を高める「修」と煉功をする「煉」の2つが含まれます。

1、学法

法輪功の主要な著作『轉法輪』には、修煉に必要な法理がすべて含まれています。『轉法輪』を繰り返し読むことで、深い内包を悟ることができます。

法輪功学習者（以下、学習者）は普段、法輪功の著作を学習することを「学法」と呼んでいます。学法には、注意すべきことが2点あります。

1) 『轉法輪』を読む時、はじめから終わりまで通読すべきで、一部分だけを選んで読むはいけません。途中で中断しても構いません



■法輪功の功法は、公園や公民館などで無料で学べます

が、書かれている順序どおりに読むべきです。

2) 学法の時、いかなる求める心もあってはなりません。心を落ち着かせて繰り返し通読してこそ、「求めずとも自ずと得る」ことができるのです。

学習者は、通読中に生じた疑問への解答が、後ろの章で得られることがあると体験しています。また再び通読すること

で、また新たな疑問が生じ、また解答が得られません。

2、煉功

法輪功は煉功と呼ばれる5セットの功法があります。李洪志先生が書かれた『法輪大法大圓滿法』には功法の特長、写真と動作の説明、付録が含まれます。

二、学ぶには

入門書の『法輪功』または『轉法輪』を通読するか、9日間のビデオ学習講座に参加して、李洪志先生の説法の録画を順序どおり見ます。

『轉法輪』は「論語」と九講の説法から構成され、説法の録画・録音も同じく九講です。

世界中の学習者たちがボランティアで教える煉功場（気功教室）があります。最寄りの煉功場を

探し、「9日間のセミナー」が開かれていれば九講の説法を全て聞き、5セットの功法を学ぶことができます。

煉功場では皆で煉功し、正しい動作を学び、学習者が間違いを直してくれるため、効果が高まります。続けて参加することで惰性を克服しやすくなります。

周りに煉功場がない方は、李洪志先生が功法を教えている録画ビデオを見ながら独学することができます。毎日煉功する時、法輪功の煉功音楽に合わせて煉功しましょう。

また、インターネットで、オンラインレッスンを無料で受講することもできます。煉功の動作を学ぶだけでなく、書籍と一緒に読むグループもあります。

初めての方へ：

法輪功の活動はすべて学習者たちがボランティアで無料で行っています。ビデオ学習講座、功法レッスン、修煉体験交流会など、修煉の純正さを保つために、料金を取る行為を絶対に禁じています。もし有料のものがあれば、それは決して法輪功が開催したものではありません。

5セットの煉功動作



①佛展千手法

②法輪樁法

③貫通兩極法

④法輪周天法

⑤神通加持法



オンラインレッスン
各地の気功教室



『法輪功』（ファールンゴン）

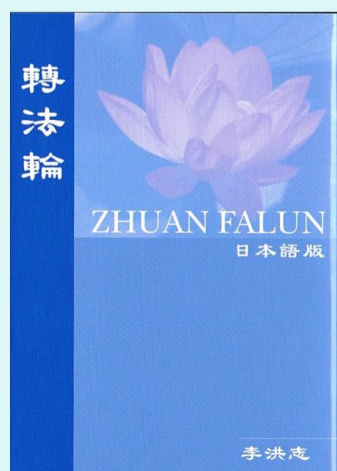
1993年に中国で発売され反響を呼んだ話題の一冊。心身ともに健康になる中国伝統の気功修煉法「法輪功」の入門書。



無料で読む



書籍を購入



『轉法輪』（ジュワンファールン）

1996年に中国北京でベストセラーとなった。「真・善・忍」を理念とする法輪功の修煉を、体系的に指導する最も主要な書籍。



無料で読む



書籍を購入

2023年 法輪功学習者6514人に不当連行や嫌がらせ

明慧ネットの統計によると、2023年に6,514人の法輪功学習者が不当に連行され、嫌がらせを受けたと判明した(連行3,629人、嫌がらせ2,885人)。うち、118人が行方不明、107人が洗脳班へ移送、1,938人が家宅搜索(身体検査等)を受け、70人が放浪生活を余儀なくされ、167人が強制採血された(指紋、足跡、地方なまり、顔識別、DNA検査、尿検査、角膜採取なども実施)。

前年と比較すると、2023年は不当判決の件数

が88%増、連行の件数は4%増、嫌がらせの件数は25%減少した。洗脳班に移送された人数は55%減少、強制採血人数は30%増加した。なお、迫害による死者数は22%増加した。

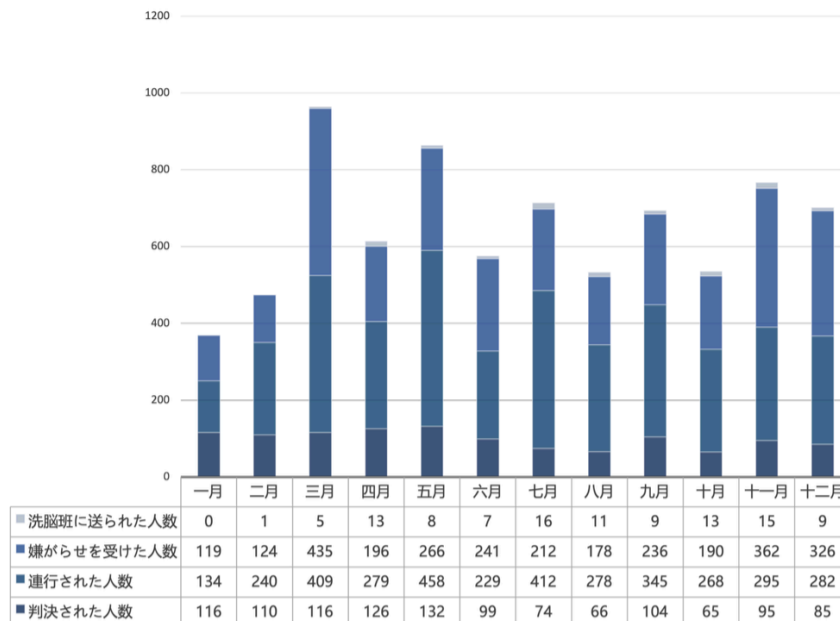
残酷な迫害は24年以上にわたって続いているが、中共の公安局、検察庁および地域の関係者がカメラや追跡装置などのハイテク機器を利用して学習者を監視、連行することは、すでに日常茶飯事となっている。

不当な連行や嫌がらせは、中国の31の省や自治

区、直轄市に及んでいる。連行が深刻な地域は、山東省613人、吉林省561人、黒竜江省366人、遼寧省336人、河北省299人、湖北省258人、四川省209人、北京市111人であり、嫌がらせが深刻な地域は山東省448人、河北省374人、四川省367人、吉林省353人、湖北省221人、黒竜江省180人、遼寧省114人、湖南省111人、陝西省103人である。

年齢別に見ると、60歳以上の年配学習者1,227人が連行や嫌がらせを受け

2023年、中共による迫害された中国国内の学習者の延べ人数統計



た。最高齢者は94歳。

2023年、中共の関係者は学習者から368万元以上の支払いを強要した。そして45人が年金や給料を不当に差し押さえられた。以下は、こうした迫害の実例である。

中国科学院の元技術者・王英さん 広東省で不当に連行

中国科学院広州地球化学研究所の元エンジニアで学習者の王英さんは、2023年12月13日午後、茂名市茂南公安局の国内安全保衛部門(法輪功迫害の実行機関)および官渡

派出所の警官により連行され、家宅搜索を受けた。同市の学習者・陶永紅さんも共に連行された。現在、王英さんと陶永紅さんは、茂名市留置場に拘禁されている。王英さんは今まで何度も拘束され、年金の支給を停止された。

元エンジニアで、翡翠鑑定 の専門家である王英さんの業務上の実績は優秀だったが、健康状態は思わしくなく、1988年8月に腎臓病を患い、1994年末には尿毒症を発症し、危篤状態に陥った。絶望していた1995年、王英さんは法輪功に出会い、わずか1カ月間学んだだけで尿毒症の症

状は完全に消え、健康を取り戻した。それ以来、王英さんは真・善・忍の基準に従って自分自身を律し、より誠実に、一言も文句を言わずに働くようになった。そして1994年以来、5年連続で広州地域科学機器協力ネットワークの上級労働者の称号を獲得した。

しかし、1999年に中共が法輪功への迫害を開始して以来、王英さんは何度も連行・拘束され、強制労働教養所に送られ、不当判決を言い渡された。公職も追われた。

大慶市の警察 周さんの自宅前に監視カメラ

黒竜江省大慶市の学習者・周鳳芹さん(60代後半女性)は、大慶高新区の水木華庭住宅地に在住し、一人で暮らしている。

2023年11月22日午前10時頃、コミュニティの5人の職員が周さんの自宅を訪れ、身分証明書の提示と携帯電話番号を教えるよう要求した。その日の午後2時30分頃、周さんが外出しようとドアを開けると、監視カメラが設置されていることに気づいた。

周さんは、カメラに入っていた2枚のメモリーカードを取り出した。カメラはまだ赤く

点滅していたが、自分のプライバシーを保護するため、周さんはカメラをゴミ箱に捨てた。周さんは「カメラはコミュニティの職員によって設置されたのではないかと考えた。

午後4時頃に息子から電話があり、「お母さん、何があったの? 警察から連絡があった。監視カメラを返してくれと言われた」と言う。

周さんは、そのときになって初めて、コミュニティと警察が協力して、個人情報入手し、自宅前に監視カメラを設置したのだと分かった。

夫は迫害で死亡、障がい者の妻も懲役6年の不当判決

吉林省臨江市の法輪功学習者(以下、学習者)の狄(テキ)蓮霞さんは、2023年8月に臨江市公安局の国内安全保衛部門(法輪功迫害の実行機関。以下、国保)の警官に連行され、今年1月に地元の裁判所から不当に懲役6年の判決を下された。

昨年7月6日夜、臨江市公安局の国保の警官男女3人が狄さんの母親の家に押し入り、家宅搜索をした。その後、市公安局副局長ら4人、コミュニティの職員1人が狄さんの家に行き、家宅搜索を行った。警官らは法輪功関連書籍や法輪功創始者の写真、プリンター、ノートパソコンなどの私物を押収し、狄さんを新市派出所に連行した。その夜遅く、狄さんは解放され帰宅した。7月12日に警官は狄さんを公安局に呼び出したが、

狄さんは迫害を避けるために家を離れることを余儀なくされた。しかし8月上旬、帰宅した狄さんは国保の警官に連行された。そして今年1月下旬、狄さんが不当に懲役6年の判決を受けたと判明した。

狄さんは、幼少期から小児麻痺を患い、身体障がい者であった。法輪功を修煉し、心身ともに恩恵を受けた。しかし1999年7.20、中国共産党(以下、中共)が法輪功の迫害を開始した。狄さんは、法輪功を学び続けているとして2年の労働教養処分を科された。狄さんの夫・王明之さんも障がい者で法輪功を学んでいたため、繰り返し迫害を受けた末、2016年5月20日、王さんは44歳の若さでこの世を去った。

迫害の経緯

夫の王さんは2000年に北京へ行き、法輪功の無実を訴えたが、臨江市留置場に拘禁され、何度も殴打された。その後、王さんは労働教養処分を受け、白山市労働教養所に収容された。王さんは2000年9月頃、法輪功と決別する「誓約書」を書くことを拒否したため、警官に鉄の籠に入れられ、スタンガンで電気ショックを与えられた。

王さんは2002年、法輪功への迫害停止を求めるために再び北京に行ったが、連行され、朝陽溝労働教養所に収容された。当時、教養所は学習者に対して、鞭、つるはしの柄、鉄パイプを使って殴打し、スタンガンで電気ショックを与えるなどの暴行を加え、法輪功との訣別(転向)を迫っていた。学習者の多くは転向を拒否したため、拷問

を受け、負傷し、障害を負う人もいた。王さんも転向を拒否したため、拷問で一度意識不明に陥ったことがある。労働教養所で受けた拷問の結果、王さんは重い肺結核を患い、「治療のための仮釈放」で帰宅した。

2011年6月22日、王さん、狄さん夫妻は、市公安局の国保の警官に連行された。王さんは警官に殴る蹴るの暴行を受け、地面に倒れると足で頭を踏みつけられ、頭や胸などを殴られ、さらに髪をつかんで壁に叩きつけられ、顔が変形した。その後、王さんは臨江公安局に連行され、そこで警官に再び殴打された。王さんは、地下室で鉄の椅子に手錠で固定されたこともあった。

狄さんは2011年7月7日、長春市黒嘴子女子労働教養所に送られ、2年間の労働教養処分を受けた。当初、教養所は障がいを持つ狄さんの入所を断ったが、警官・石登峰は教養所長に狄さんの入所を強いた。7月8日、狄さんは電気ショックを与えられた。9日と10日、小さなベンチに座らされたり、立たされたりした。11日、教養所は狄さんの家族に電話し、障がい者の手帳を送るよう告げた。その後、狄さんは解放された。



■暴行による拷問のイメージ図

米国下院議長、臓器収奪を非難

米国下院議長マイク・ジョンソン氏は1月31日、国際宗教自由サミットの演説で、中国共産党（以下、中共）による法輪功学習者（以下、学習者）の臓器収奪を非難した。

中共は抑圧的な専制国家

国際宗教自由サミットは、1月30日と31日にワシントンD.C.で開催された。ジョンソン氏は、信仰の自由を擁護することにキャリアを捧げてきたと述べ、「世界中で起こっている信仰の自由への迫害に、共に

対抗することを光栄に思います」とコメント。

そしてウイグル自治区におけるイスラム教徒への中共による迫害に言及すると共に、「中共は、チベット仏教徒や学習者を拘禁し、その臓器を強制的に摘出しています」と指摘し、「中国は、最も抑圧的な国の一つです。経済的繁栄や社会の流動性の観点で、中共政権による国民への貢献は最も少ないものです。しかし信仰の自由を制限し、苦しめる専制的な政権なので、それ驚くにはあたりません」と述べた。

中国のジェノサイドに制裁

同氏はまた「米国はジェノサイドを防止し、それを犯した者を罰する責任があります」とし、さらに「私たちの不可侵の権利、特に信仰の自由は神から与えられたものであり、政府から与えられたものではありません。これは、普遍的で自明の真理です」と宣言。

一方、米国下院は2023年3月27日、強制臓器狩りを犯罪とする「2023年強制臓器摘出停止法案」を413対2の賛成多数で可決してい

る。生きた良心の囚人から臓器を摘出するという中共の残虐行為に、米国が直接的に立法で対処したのはこれが初めて。この法案の罰則には、最高25万米ドルの民事罰、最高100万米ドルの刑事罰、20年の懲役刑が含まれる。

臓器収奪は人道に対する罪

この法案の主要な提案者であるクリス・スミス議員（共和党、ニュージャージー州）は法輪功への迫害に反対し「臓器収奪は残虐で、人道に対する罪」と述

べており、2022年4月には「学習者は拘束され、拷問され、最も残忍な方法で迫害されています。その迫害には、臓器収奪も含まれています。基本的な人権と信仰の自由、言論



■下院議長マイク・ジョンソン氏

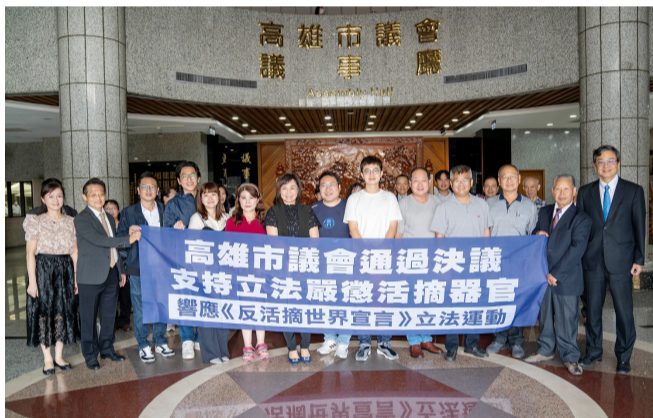
や集会の自由を信じているというだけで迫害されているのです」と声明を発表し、同法案の成立を促していた。

台湾の市議会 「生体臓器収奪に反対する立法措置」支持

台湾の高雄市議会は2023年12月14日、「生体臓器収奪の阻止と撲滅に関する世界宣言」を受けた立法措置を支持する決議を可決した。台湾では5番目となるこの決議では、中国共産党（以下、中共）による生体臓器収奪に対する法整備を支持するだけでなく、この残虐行為の実態を市民に知らせよう高雄市当局に求めた。

出所不明の臓器移植は殺人の共犯に

より具体的には、違法な臓器の売買や移植のために中国本土に渡航しないよう求めており、つま



■高雄市議会が可決した翌日、多くの議員が支持表明

りは臓器の収奪という殺人の共犯にならないために、出所不明の臓器移植を拒否するよう呼びかけている。

可決後、同市議会の議長である康裕成氏は、公に支持を表明した。ま

た同市の陳其邁市長は「人権に国境はありません。特に中国は生体臓器収奪等といった深刻な人権問題を抱えています。この問題には、国際社会からの厳しい非難が必要だと思えます。地方政府と市民社会が連帯し、関

心を寄せていくことを望みます」と述べた。

違法な臓器供給源を排除して人権擁護を

同市議会の「生体臓器収奪の阻止と撲滅に関する世界宣言」の発起人である陳麗娜議員は「世界では、臓器移植が厳しく規制されています。台湾でも違法な臓器供給源を排除し、人権が擁護されるよう願っています」と述べた。

また同議員は「法規制により殺人の共犯となることを避けることができます。これは人権を擁護するものであり、国民の健康を守るものです」と述べた。

生体臓器摘出の排除は正義

国民党市議会議員の劉徳林氏は「高雄市議会は生体臓器摘出を禁止する中央政府の立法を支持します。生体臓器摘出を排除することは正義です！人の命はかけがえのないものであり、人道の原則に反することがあってはなりません。臓器の生体摘出に反対します。この法律が完全に施行され、台湾の対応が世界と同調することを嬉しく思います」と述べた。

臓器移植で中国に渡航するリスクを理解して

台湾基進黨市議会議員の張博洋氏は「生体臓器収奪に反対する立法が提唱されました。臓器移植のために中国に渡航するリスクを深く理解することが重要です。臓器の出所を無視して殺人の共犯者となる患者もいますが、これは道徳や倫理に反しています」と述べた。

日本各地区で迫害停止を呼びかけ

2月9日の旧正月の大晦日の夜、法輪功学習者（以下、学習者）は中国総領事館前に集まり、中国共産党（以下、中共）による法輪功への残虐な迫害を停止するよう訴えた。

福岡

福岡の中国総領事館前では、学習者が「法輪大法は素晴らしい」「STOP! 法輪功への迫害」といった横断幕や、迫害についてのパネルを掲げ、中共による法輪功への迫害を阻止するよう協力を呼びかけた。

立ち止まった人々はパネル等をじっくりと読み、多くの

車も窓を開けて学習者から資料を受け取った。夜になると、学習者は横断幕やプラカード等の下にキャンドルを灯した。

25年近くの反迫害活動の間、学習者は常に平和かつ理性的な方法で、中共の独裁政権下での反人道的な迫害を世界に訴えてきた。現在では、ますます多くの人々が法輪功への迫害の実態を知り、学習者に共感し、支持するようになった。

札幌

札幌でも学習者が中国総領事館前に集まり、中共による

25年にわたる法輪功への迫害に平和的に抗議し、共に迫害をやめさせようと呼びかけた。中には80代の参加者もいた。

名古屋

名古屋では学習者が2月10日夜11時に中国総領事館前に集まり、「法輪大法は素晴らしい」、「真・善・忍」、「SOS 法輪功への迫害を停止！」などの横断幕を掲げ、直ちに法輪功への迫害をやめさせようと呼びかけた。

ある学習者は、「私たちの行動を通じて、中国で法輪功を学ぶだけで迫害されている

学習者に声援をおくります」と語った。

別の学習者は、迫害が終わらない限り、迫害の終結を求める私たちの声が止むことはない」と述べた。中国における学習者への迫害は未だ続いており、「真・善・忍」を信じる多くの学習者は、中共の厳重な監視下に

置かれ、いつ残酷な迫害を受けるかわからない状況にある。

こうした平和的な抗議活動は、日本でも毎年続けられている。こうした学習者の根気強い活動によって、法輪功への迫害の実態を理解した人々も多くいた。



■総領事館前での活動（札幌）

太極拳の祖師・張三豊

中国の歴史上、何代もの皇帝に探し求められ、封号を授けられた人はおそらく張三豊ただ一人でしょう。明朝の約200年にわたり、ほとんどの皇帝が彼を探し求めました。明の第6代、第8代皇帝・英宗、第9代皇帝・成化帝、そして第12代皇帝・嘉靖帝は張三豊に称号を授けました（道家は「真」を修めることを重んじたため、これらの封号に「真」の文字が含まれています）。明の時代、皇帝から一般市民まで、道教を広く尊重していましたが、これは張三豊の巨大な影響力と切り離せません。

武当山

張三豊は、宋、元、明王朝をまたいで活躍した道士であり、武当派の開祖でした。

『明史・張三豊伝』には次のように記載されています。「張三豊は遼東の懿州（いしゅう）の出身で、名前は全一、別名は君宝で、三豊と号されました」。彼

は身なりに無頓着で、「張邈邈（ラタ）」とも呼ばれました（「邈邈（ラタ）」はだらしないという意味）。背丈は高く、「亀のような形に鶴のような背中、大きな耳と丸い目、槍のような髭がありました」。彼は一枚の道袍と蓑衣しか着ませんでした。目に映ったことは忘れず、さすらい、ある人によると、彼は一日千里を進むことができると言いました。彼は武当山を訪れ「この山は将来、大いに栄えるだろう」と語ったと伝えられています。

明の初代皇帝朱元璋は何度か彼を訪ね、元璋の息子である朱棣も張三豊の名声を聞いていましたが、彼に会うことはありませんでした。朱棣は即位した後も、何度か使者を派遣し侍読学士の胡広に捜し出すよう指示し、手紙を持たせました。

張三豊は朱棣からの手紙を受け取り、詩を書いて弟子の孫碧雲に渡し、朱棣に

伝えました。この手紙で、張三豊は長寿の秘訣を示しました。「心を清らかに保ち、欲望を抑えること」が重要と説明したのです。

永楽十年、朱棣は武当山に宮殿、寺院などを建設しました。そしてこの山に「太和太岳山」と名付けました。これは張三豊の預言と一致しています。

無根樹

張三豊は多くの著作を執筆し、後世の修道者から高く評価されました。彼の最も傑出した作品は「無根樹」の丹詞とされています。

「人生には生老病死があり、数多くの心配と悩み、百年の歳月は瞬く間に過ぎ去り、それはまるで根のない木のようにです」。人生は名誉や富貴に執着すると常に危険にさらされると指摘し、修煉を早く始めるよう勧めています。

道家の理論は難解ですが、張三豊は分かりやすい言葉を用いて修道理論を歌

詞「無根樹」に残し、後世の修行者に大きな影響を与えたのです。

太極拳 失われた心身の修養法

張三豊が創設した太極拳は、性命双修を重視する功法で、内面の修養を重視します。動作は落ち着いてリラックスし、精神的な集中力が高く、剛柔両立し、静けさから動きを制御します。実戦にも適し、長寿にも寄与するとされています。

多くの人が太極拳を学んでおり、太極拳の競技やパフォーマンスが行われ、映画やテレビドラマも制作されています。しかし太極拳は、当初の張三豊の教えから遠ざかり、太極操に変化し、実戦についても長寿についても効果が低下しています。近代の太極拳の「名家」たちの平均寿命も約70歳に留まっています。

修煉といえば煉功だけを考へがちですが、本質は心性の修煉にあります。道家は「清浄無為」と言いますが、これは心性の修煉を指しています。名誉と利益を追求し、競争心が強い「名家」たちは、本当に静けさを見出すことができるでしょうか？ これらの良くない心が彼らを妨げますが、どのようにして修煉を長続きさせる



■張三豊像

ことができるでしょうか？「心を清らかに保ち、欲望を抑えること」さえ実践できないのに、どうやって長寿を迎えることができるのでしょうか？

一部の人は名誉や利益の影響を受け、太極拳の動作を変えてしまいました。真の伝承の功法は、自由に変更できません。このような勝手な行為は、人々に害を及ぼすことがあります。それを理解する人は僅かです。正統な太極拳の伝承は途絶え、修煉したい者が失望しています。

【古代の物語】寝坊した僧侶

釈迦牟尼仏は、弟子たちに、仏教の教義を注意深く心をこめて学ぶように、怠けてはいけないと教えました。多くの弟子は教えに従って熱心に修煉し、多くの悩みや苦しみを解消しながら悟り、果位に達しました。

不精な僧侶

しかし、不精な僧侶もいました。他の人が座禅している時、いつも眠ってしまうのです。仲間の弟子たちは説得しようとしたが、自分を変えようとしませんでした。

この僧侶の弱点は、寝坊でした。毎日、食事が終わると寝ていました。ドアをしっかりと閉めて部屋で寝ていました。誰も彼を起こすことはできませんでした。

ある日の正午、この僧侶は部屋に行き、眠りに落ちました。彼のいびきは他の僧侶の部屋にまで聞こえました。

寝るのが好きな僧侶

翌朝は、釈迦牟尼が仏法を説く日でした。寝るのが好きだった僧侶を除いて、弟子は全員出席しました。釈迦牟尼は「なぜ寝るのが

好きな弟子は来ないのか？」と尋ねました。

弟子は「あの人は昨日の正午から眠っています。どんなに頑張っても起こすことができませんでした」と答えました。

釈迦牟尼は、その僧侶の余命があと七日だと思い出しました。釈迦牟尼は弟子たちに経典を暗唱するよう指示し、弟子の阿難（あなん）を連れて、その僧侶に会いに行きました。

目を覚ました僧侶

釈迦牟尼と阿難が僧侶の部屋に向かう途中、雷鳴のようないびきが聞こえてきました。僧侶はまだ眠っていました。

阿難は僧侶の名前を数回呼びましたが、反応がありません。釈迦牟尼がベッドに歩み寄り、優しく揺さぶると僧侶はすぐに目を覚ました。

僧侶は釈迦牟尼の前に立ち、慈悲深く見つめているのを見て、すぐに頭を下げました。

釈迦牟尼は「あなたの余命は7日です。あなたが正果を得られ

ずに死ぬのを見るのは耐えられません。あなたを目覚めさせるために、ここに来ました」と言いました。

虫の生まれ変わり

僧侶は、あと僅か7日の命とは思ってもいませんでした。怖くなって、どうすればいいか分かりませんでした。

釈迦牟尼は、こう語りました。「数生前、あなたは仏教の戒律に従わず、何の福德も積まなかったため、あなたは穀象虫（コクゾウムシ。穀物を食う虫）として5万年繰り返し生き、その後はカタツムリや貝、蠹（と：木食い虫）として、それぞれ5万年、生まれ変わりました」

「前世では一度眠りにつくと100年以上も眠ったということです。進歩する方法もまったく知りませんでした。20万年の時を経て罪を償い、人間として転生し、僧侶となったのです」

懺悔と修煉の道

釈迦牟尼は続けます。「僧侶になったのだから、失った分を補うために修煉しなければ

なりません。20万年前と同じように食欲で眠いのですが、絶えず虫として輪廻転生していたことを忘れないでください」

僧侶は懺悔し、悔い改めると雑念はすべて消えました。そして羅漢の地位に達することができました。

時間はあっという間に過ぎてしまうとよく言われます。寝過ぎてしまう人は、チャンスをしっかり掴まないと本当に後悔しますが、どんなに後悔しても何も解決しません。本当に来世で眠り虫になりたいのですか？

修煉と時間の大切さ

寝坊した僧侶は、急いで眠気を止め、残された時間を大切にすることが必要だとようやく気づきました。仏法の修煉において、修煉者は精進してひたすら前進することが重要と強調されます。寝てばかりいる人が、どうすれば勤勉になれるのでしょうか？ 修煉を成功させるには、一分一秒を大切に、睡眠時間を減らし、より多く修煉しなければなりません。



写真特集



- ① ② ニューヨーク市最大の中華街で「新年パレード」が旧暦甲辰年の2月10日に開催され、参加した法輪功チームのパレードの様子
- ③ 2月18日、稲沢市の文化グループ発表会で法輪功の功法を実演する学習者たち
- ④ 1月26日～27日、フィンランドで開催された「Educa Messu」という教育展示会で法輪功を紹介。会場にいた教師の多くは学習者と話し、法輪大法について知った
- ⑤ 1月19日～21日、インドのプラガティ・マイダんで開催された「HAAT芸術展」に参加し、学習者が制作した「真善忍美術展」の作品の一部を展示した
- ⑥ 1月14日、トルコのカドゥキョイ市のエコロジカルライフセンターで、人々に法輪大法を紹介。そこで始めて法輪功を知ったタミジュレクさん



明慧ネットとは

明慧ネットは、1999年6月21日に中国語ウェブサイトを立ち上げ、2001年7月に日本語版を開設しました。

法輪功について紹介すると同時に、世界各国の活動や、学習者が法輪功を学んだ体験談を掲載しています。

また、世界中（特に中国本土）で独自の情報伝達システムを構築し、危険な状況の中、現地から直接入手した情報を毎日大量に発信し、中国共産党の法輪功への迫害事実を報告しています。

明慧ネット日本語版
<https://jp.minghui.org/>

